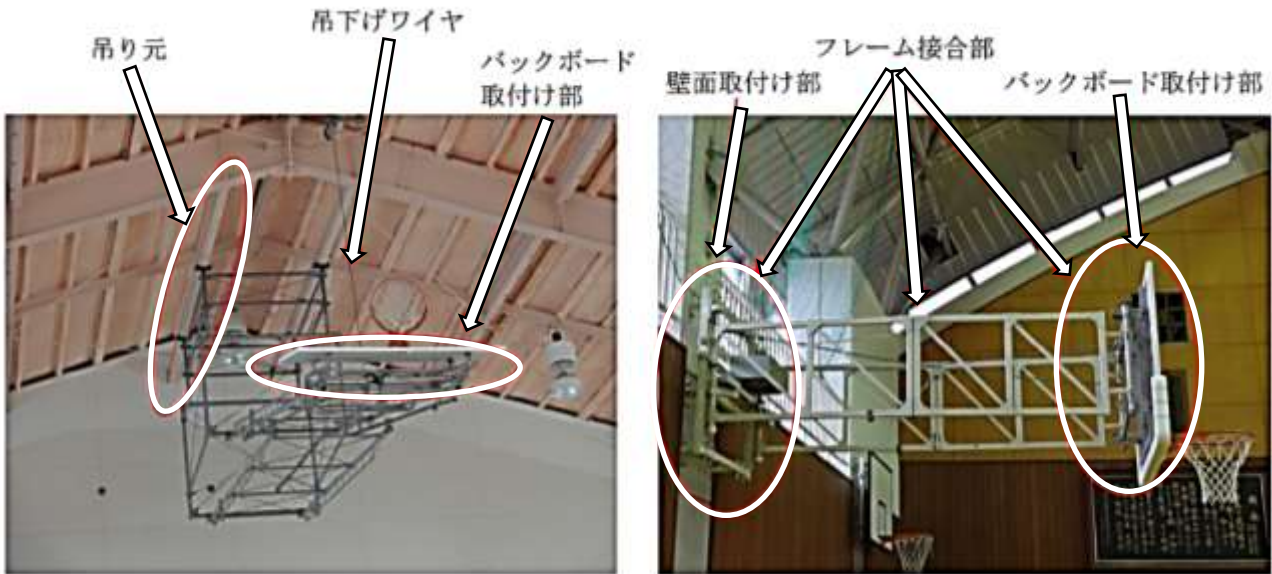


## Q-20 体育館の管理における留意点を教えてください。

A1 吊下式バスケットゴールは、万が一の事故を防ぐため、基本的には下ろした状態にしておきます。また、フレームの接合部やワイヤーなどの状態を定期的を目視により確認する必要があります。



詳しくは、「学校施設における天井等落下防止対策の手引書」（平成 25 年 8 月 文部科学省）を参照。

A2 体育館の床の清掃は、水分による床板の収縮や乾燥の影響を防ぎ、床板の剥離による負傷事故を防止するため、水拭きやワックスがけが禁止されました。日常清掃は、体育館専用モップにより、床板を清潔に保ちます。日常点検により、床板に傷や割れ、反りなどがいないか、水たまりや湿気などがいないか点検します。

詳しくは、「体育館の床板の剥離による負傷事故の防止について」（平成 29 年 6 月 12 日 教教施第 1871 号）参照。

A3 跳び箱の置き方の工夫として、車輪のついた移動台に乗せると、移動が楽になり、球技の際などの安全確保と準備時間の短縮につながります。



## Q-20 体育館の管理における留意点を教えてください。

A4 マットの置き方の工夫として、同じ種類のを重ね、壁に接着させないことで、児童が持ち手を持ってすぐに運ぶ準備ができるようにしましょう。片付け方を掲示物で示し、現状復帰しやすくするとよいでしょう。



A5 ボールよけのネット使用の際は、床に垂れ下がっているネット部分に乗ってしまい、すべて転倒しけがにつながる可能性があります。事前指導で安全に留意させるとともに、ネットが床にふれないようにしておくことも必要です。



A6 体育館の運動時に危険と判断されるものは移動させます。階段は、ステージに乗せるなど、安全な位置へ移動させてから学習を始めます。勢いが余ってぶつかりけがをする可能性があります。



毎月の安全点検で、確実に用具や施設の確認をしていきましょう。

授業の前には、起こり得る事故の可能性を予見し、用具の配置に気を配りましょう。